

江戸時代・福井の城下町

学校 年 組



4. 福井のお殿さまは、お城や城下町を作るのに、どんな工夫をしたのでしょうか？ 写真や地図・文章をヒントに考え、説明する文を書きましょう。

江戸時代の福井のお城や町が、今わたしたちが住んでいる福井の町のもとになっているんだ。どんな町づくりがされたんだろう？

下の写真は、江戸時代の福井のお城・城下町の様子を再現したものです。



地図の中にかきこんでみよう！

1 町に面した「桜門」から福井城の本丸まで、歩いてみるつもりで線を引いてみよう。本丸につくまでに、お堀と門をそれぞれ何回通らなければならないでしょう？

こたえ お堀を 回、門を 回
通らないといけない

2 むかしの旅人や大名行列が通った「北陸道」に線を引いてみましょう。どんな人たちが住んでいるところを通っているでしょう？

3 ア. 町人が住んでいたところ
イ. お寺や神社
ウ. 武士が住んでいたところ
左の地図を見ながら、上のア～ウをそれぞれ別の色で、右の地図に塗ってみましょう。

城下町では、武士の住むところと町人の住むところが区別されていました。武士のすむところをもっとも広く、現在県庁がある本丸や二の丸などのまわりを、とりかこむようにして屋敷がならんでいました。町人の住むところはおもに「北陸道」のまわりにつくられ、通りぞいににぎやかな町が広がっていたようです。



江戸時代後期の福井城下

現代の福井市中心部

かさねてみると・・・



もっとしらべてみよう！

・江戸時代から同じ場所にあるお寺や神社を調べてかきこんでみよう。

・江戸時代の地名が残っている場所を調べて、地図にかきこんでみよう。(できたら、どうしてその地名がつけられたか、さらに調べてみよう。)

図書館でもっと詳しく調べてみよう！

- 「福井城大発掘 なるほど福井の江戸時代」福井市立郷土歴史博物館 2004年発行
- 「福井城下町名ガイドブック」(財)歴史のみえるまちづくり協会 2001年発行
- 「福井市史 資料編別巻 絵図・地図」福井市 1989年発行

